

セールスマニュアル

東バイエルン

ー ドナウ川沿いの自然体験と歴史を巡る旅



© Tourism Board of East Bavaria-Stephan-Moder

位置とアクセス

東バイエルンは、プラハ、ウィーン、フランクフルト、ミュンヘンといったヨーロッパの主要文化都市およびこれら国際空港からのアクセスが良い地域に位置している。最寄りの国際空港はミュンヘンだ。

豊かな自然美、歴史的な見どころ、バイエルンの伝統を体験できる東バイエルンには、世界から旅行者が集まる。

ドナウ川とユネスコ世界遺産「ドナウ・リーメス」

欧州で2番目に長いドナウ川は、東バイエルンを約150kmに渡って流れている。文化・歴史的にも重要な区間で、ローマ帝国の境界線「ドナウ・リーメス」としてユネスコ世界遺産に登録されている。

ヴェルテンブルク修道院のあるドナウ渓谷から、オーストリアとの国境にある三つの川が合流する町パッサウまで、川沿いには数キロごとに歴史的建造物や美しい町が点在している。

ヴェルテンブルク修道院とドナウ渓谷

ドイツで最も古く、また最も重要な修道院の一つであるヴェルテンブルク修道院は、約1,400年前に創建。ドナウ川全長約3,000kmの中でも屈指の美しさを誇るドナウ峡谷の入り口にある。

修道院の敷地にはバイエルン州でもひととき美しいバロック様式のアザム教会、すぐ隣には世界最古の修道院ビール醸造所があり、約950年前から続くヴェルテンブルク修道院醸造所の黒ビールは、過去10年ほどの間に3度「世界最高峰の黒ビール」に選ばれた。

この伝統の黒ビールとバイエルン料理は、修道院中庭のクラシックなビアガーデンで楽しめる。修道院から出発する遊覧船に乗ると、高さ80mの断崖絶壁が続く約5kmのドナウ峡谷を眺める約30分の船下りを体験できる。ちなみにドナウ峡谷はバイエルン州で最初の自然保護区だ。



© flymovies.de

ケールハイムと解放記念堂

遊覧船の到着地ケールハイム手前のドナウ川を見下ろす高台には、バイエルン国王ルートヴィヒ1世によって建てられた解放記念堂がそびえる。外観もさることながら、内部も非常に印象的な建造物だ。

© Tourismusverband im Landkreis Kelheim e. V., Manja Wolf



アーベンスベルクとフンデルトヴァッサーの醸造所

ケールハイムから約20分の場所にある町アーベンスベルクには、伝統的なバイエルンのビール文化と現代アートが融合するユニークなビール醸造所クッヒルパウアー醸造所がある。

この醸造所建物の大部分は、オーストリアの著名な芸術家フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサーの設計で改装された（彼は数年間日本にも滞在したことがある）。童話から抜け出したような塔や美術館、醸造施設の見学ツアーでは、ビール試飲やバイエルン軽食も楽しめる。冬には30万個の電球で飾られるクリスマスマーケットが開かれ、幻想的な光景が広がる。



© Norbert Eisele-Hein

レーゲンスブルク — ユネスコ世界遺産の中世都市

ドナウ川をさらに30分ほど下ると、ユネスコ世界遺産の街レーゲンスブルクに到着する。約1,800年前にローマ軍の駐屯地として築かれたこの町は、中世の旧市街がそのままの状態で見られるドイツでも最も類を見ない町だ。

- ドイツ最大の中世都市
- 大聖堂や中世の塔が作り出す壮大な街並み
- ドナウ川に架かるドイツ最古（800年以上前）の石橋
- 世界最古のソーセージ屋
- 世界唯一のダックスフント博物館

また、レーゲンスブルクは学生数が3万人を超える大学都市でもあり、歴史的でありながら若い活気が満ち溢れている。クリスマスシーズンには、ドイツ最大級の城の一つに数えられるトゥルン・ウント・タクシス城を含む5つのクリスマスマーケットが開かれる。

ヴァルハラ神殿

レーゲンスブルクからドナウ川をさらに約10km下った高台に建つのがヴァルハラ神殿。

これはバイエルン国王ルートヴィヒ1世によって建てられたギリシャ神殿風の建造物で、ドイツおよび中欧の歴史上の偉人を讃えている。



© Stephan-Moder-TVO

シュトラウビングとゴイボーデン博物館

さらにドナウ川を約30km進むと、シュトラウビングに到着。歴史の古いこの町で、アルプス以北で最も重要なローマ時代の財宝の一つが発見された。現在はゴイボーデン博物館で展示されている。



© TVO

また、シュトラウビングはミュンヘンのオクトーバーフェストに次ぐバイエルン第2の規模を誇るビール祭りの開催地。7つの大テント（計27,000席）の他、数多くのアトラクションを楽しみに、バイエルンの民俗衣装を着た来場者が毎年約120万人が訪れる。

バイエルンの森の空中回廊イボーデン博物館

シュトラウビング北方の「バイエルンの森」には、高さ約30mの森の上を歩ける空中回廊がある。高さ50mの展望塔からは、晴天時にはオーストリア・アルプスまで約150kmの眺望が楽しめる。

さらにパッサウの北40kmにはドイツ初の国立公園であるバイエルンの森国立公園が広がる。全長1.3kmの世界最大級の空中歩道があり、園内には野生動物の大規模飼育エリアもある。



© Waldwipfelweg_St.Englmar



© eak

パッサウ — 3つの川が合流する町

旅の終着点は、オーストリアとの国境の街パッサウ。世界でも珍しい3つの川が一点で合流する町だ。

●ドナウ川：ドイツの黒い森シュヴァルツヴァルトに源を発し、レーゲンスブルク、パッサウを経てウィーン、ブダペスト、ベオグラードを経て黒海へ

●イン川：スイスに源を持ち、オーストリア経由でパッサウへ

●イルツ川：バイエルンの森、チェコ国境付近に源を持つ

これらは45分の遊覧船で合流地点と歴史的な旧市街をドナウ川から眺めることができる。旧市街の中央に立つパッサウ大聖堂はドイツ最大級のバロック教会で、約18,000本のパイプを備えた世界最大のパイプオルガンがある。イースターから10月末まで、平日12時に30分間のオルガンコンサートが行われる。

パッサウはまた、ドナウ川クルーズの拠点でもあり、ここからウィーン、ブダペスト、さらに下流へと旅が続く。



© Passau Tourismus e.V.

問い合わせ先



東バイエルン観光局
Tourist Board of East Bavaria

Stephan Moder
Tel: +49 941 585 3915
Email: moder@ostbayern-tourismus-marketing.de

Homepage: <https://www.ostbayern-tourismus.de/region/bavarias-historical-and-natural-treasure>
Facebook: <https://www.facebook.com/OstbayernUrlaub>
Youtube: <https://www.youtube.com/user/MeinUrlaubTV>



© SPSPG Palace Charlottenburg_Reinhardt und Sommer

ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団 ヨーロッパ屈指の魅力を放つ文化都市エリア

ベルリンとブランデンブルクは、プロイセンの歴史遺産と文化芸術が融合する、ヨーロッパでも屈指の魅力を誇る文化都市エリアである。2つの州にまたがりながらも、観光面では一体の地域としてまとまっており、ベルリン・ブランデンブルク国際空港を玄関口に、便利な公共交通網によって、ベルリンやポツダムはもちろん、ブランデンブルク州内の各観光スポットへもスムーズにアクセスできる。

この地域には、博物館や宮殿、庭園、ユネスコ世界遺産が数多く点在する。プロイセン王宮・庭園群や博物館島をはじめ、世界的に評価の高い美術館やコレクションに至るまで、多彩な文化遺産の魅力を当財団が発信している。

2027年の注目は、6月4日に再オープンするペルガモン博物館である。10年以上にわたる改修を経たペルガモン大祭壇が再び一般公開され、これにより博物館島のすべての施設がそろい、「博物館島200周年」事業も3年目を迎える。

プロイセン王と王妃が残した30を超える宮殿・庭園群は、1991年にユネスコ世界遺産に登録され、「プロイセンのアルカディア」と称されている。中でもサンスーシ宮殿、新宮殿、シャルロッテンブルク宮殿は最大の見どころであり、壮麗な建築と美しく整えられた庭園が、当時の優雅さを今に伝えている。

シャルロッテンブルク宮殿（ベルリン）

ベルリン最大かつ最も壮麗な王宮。ブランデンブルク選帝侯フリードリヒ3世の妃ゾフィー・シャルロッテのための夏の離宮として建設されたもの。プロイセン王家の優雅さと芸術への高い志向を体現し、バロック様式やロココ様式の内装、豪華に装飾された諸室、そして広大な宮殿庭園を備え、プロイセン宮廷文化の洗練された世界を垣間見ることができる。

開館：通年 10:00～17:30

入場料：シャルロッテンブルク・プラス（Charlottenburg+）

22ユーロ（割引18ユーロ）※2027年1月1日～9月24日

24ユーロ（割引20ユーロ）※2027年9月25日～2028年1月9日（特別展含む）

グループ料金（アプリ利用・日本語対応）：

シャルロッテンブルク宮殿・旧宮殿 180ユーロ（最大25名／所要時間：約50分）

サンスーシ宮殿（ポツダム）

「憂いなき（Sans souci）」を意味するその名は、静寂と安らぎを求めたフリードリヒ大王の願いを象徴している。王が最も愛した離宮であり、私的な隠れ家でもあった。段々畑のブドウ園に囲まれた宮殿は、18世紀当時の優美なロココ様式建築として必見である。「サンスーシの哲人」と称されたフリードリヒ大王の私的な世界を垣間見ることができる場所である。

開館：通年 10:00～17:30

入場料：サンスーシ・プラス（Sanssouci+）24ユーロ（割引20ユーロ）

グループ料金（アプリ利用・日本語対応）：260ユーロ（最大25名／所要時間：約55分）



© PMSG SPSPG Sanssouci Palace Potsdam André Stiebitz



ペルガモン博物館 ついに再オープン！

2027年の大きな文化ハイライトとなるのが、春に予定されているペルガモン博物館（北翼および中央部）の再オープンである。長年にわたる大規模改修を経て、世界有数の名高い博物館が再び一般公開される。

新たに展示面積が倍増したイスラム美術館のリニューアル展示に加え、10年以上の時を経て、ペルガモン大祭壇もついに再び公開される。



ペルガモン博物館 ペルガモン大祭壇 (2025年12月現在)
© Staatliche Museen zu Berlin David von Becker



ペルガモン博物館 (2025年12月現在)
イスラム美術館 アレppoの間
© Staatliche Museen zu Berlin David von Becker



ペルガモン博物館 イスラム美術館
ムシャッタ宮殿ファサード (イメージ)
© Museums für Islamische Kunst, Staatliche Museen zu Berlin

ペルガモン博物館イスラム美術館

ペルガモン博物館北翼のイスラム美術館の新展示では、近東および中東の約1400年にわたる文化の歩みをたどることができる。ムシャッタ宮殿の壮大なファサードや色彩豊かなアレppoの間、礼拝および居住用の壁面装飾、さらには有名なアルハンブラ宮殿のドームが、大規模な修復と空間展示の再構成を経て、新たな演出のもと公開される。3300平方メートルを超える広大な展示空間には、特別貸出品を含む1000点以上の作品が並び、一部は今回初公開となる。庭園ホールのような展示空間では、五感を通じた没入型体験ができるほか、体験型プログラムや参加型ゲーム、現代の視点を取り入れた解説など、来館者が楽しめるさまざまな工夫が施されている。

このコレクションは国際的にも高く評価されており、カイロに次ぐこの分野で最も古い施設とされている。2027年は、世界最大かつ最も先進的なイスラム美術館へと発展する予定である。

ペルガモン博物館予約受付は、2026年7月1日から。英語または日本語によるガイドツアーあり。団体・その他特別グループの予約受付開始は、2027年以降を予定。

団体向け特別ガイドツアー「Highlights of the Reopening」

待望のリニューアルオープンを迎えるペルガモン博物館のグループ向け特別体験ツアー。ペルガモン大祭壇から、アッシリア王エサルハドンの戦勝碑、ムシャッタ宮殿のファサード、そして17世紀に彩色された壮麗なアレppoの間へと続く、約2600年にわたる人類の歴史をたどる構成。革新的な展示方法により、修復された貴重な展示物の数々を新たな視点で体験できる。

予約受付開始：2026年7月1日 催行開始：2027年6月6日より 言語：日本語／英語
料金：150ユーロ＋入館料 入場料金：今夏発表予定

ベルリン博物館島200周年

2027年はベルリンの博物館島200周年を祝う5年間の記念事業の3年目にあたる。ついに5つすべての建物が一般公開される大きな節目を迎え、博物館島を余すことなく体験できるようになる。ペルガモン博物館へは、ベルリンでも特に美しいシュプレー川沿いの列柱回廊を通り、景観もあわせて楽しめる。

ガイドツアー「ベルリン博物館島 - ユネスコ世界遺産」

博物館島の歴史に焦点を当て、建築的見どころや旧博物館、新博物館の厳選した展示を巡る。
(所要時間2時間)

言語：日本語／英語

料金：150ユーロ（＋博物館島チケット） 入場料：24ユーロ（島内すべての博物館に1日入場可）

予約：通年可 予約サイト：[Staatliche Museen zu Berlin](https://www.staatliche-museen-berlin.de/en/tickets)（団体向けガイドツアー）



博物館島パノラマ
© Staatliche Museen zu Berlin Hans Christian Krass



ベルリン博物館島 列柱回廊
© Staatliche Museen zu Berlin David von Becker

問い合わせ先



STIFTUNG
PREUSSISCHE SCHLÖSSER UND GÄRTEN
BERLIN-BRANDENBURG

ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団 Prussian Palaces and Gardens Foundation Berlin-Brandenburg

Head of Tourism and Market Research Jeannette Birk

グループ問い合わせ Tel: +49 331 96 94-222 Email: gruppenservice@spsg.de

URL: www.spsg.de

ニュースレターでは、最新情報や旅のヒントをお届けしています。是非御登録ください。 [newsletter](#)



Staatliche Museen zu Berlin
Preussischer Kulturbesitz

ベルリン国立美術館 プロイセン文化財団

Stiftung Preussischer Kulturbesitz – Staatliche Museen zu Berlin in Berlin

予約＆問い合わせ Tel: +49 (0) 30 266 42 42 42 (Mo-Fr, 9-16h) Email: service@smb.museum

URL: www.smb.museum/en/home

最新情報はニュースレターでご案内します。 [Newsletter for the Travel Industry](#)

